

1 学校の概要

1 学校の沿革

| 校 訓 | | こころ つなぎ みち ひらく | |
|-------|--------|--|--|
| 平成24年 | 4月5日 | 大仙市立西仙北小学校開校 出会いの会 刈和野・土川・大沢郷・双葉の4小学校が統合 教職員数28名 | |
| | 4月9日 | 入学式 54名の新入生を迎え全校児童351名でスタート 15学級(第2学年3学級、特別支援2学級) スクールバス通学児童216名(61.5%) PTA会員数272世帯 | |
| | 6月7日 | 開校記念植樹(陽光桜) | |
| | 7月14日 | 大仙市立西仙北小学校開校式 開校祝賀会(ユメリア) | |
| | 9月9日 | 運動会 | |
| | 10月26日 | 大曲仙北教育研究会秋季大会 算数研究会会場校 | |
| | 11月10日 | 学習発表会 | |
| 平成25年 | 4月8日 | 入学式 49名の新入生を迎え全校児童341名でスタート | |
| | 4月28日 | 運動会 | |
| | 6月7日 | 開校記念日 | |
| | 10月10日 | あいさつこだま運動開始(小中連携事業) | |
| | 10月22日 | 学びの交流事業で沖縄県糸満市児童20名・教員4名来校 | |
| | 10月29日 | 秋田県情報統計教育研究会大会会場校 | |
| | 11月14日 | 学力向上自主公開研究会 全国各地より100名の参加者 | |
| 平成26年 | 4月8日 | 入学式 57名の新入生を迎え全校児童338名でスタート | |
| 平成27年 | 4月8日 | 入学式 46名の新入生を迎え全校児童333名でスタート | |
| | 10月27日 | 大曲仙北教育研究会秋季大会 学校図書館教育研究会会場校 | |
| | 11月30日 | 大仙市PTA連合会研修会場 | |
| 平成28年 | 4月8日 | 入学式 39名の新入生を迎え全校児童321名でスタート | |
| 平成29年 | 4月8日 | 入学式 56名の新入生を迎え全校児童297名でスタート 特別支援学級新設1年生2学級 合わせて16学級 (すみれ組:肢体不自由 さくら組:難聴) | |
| 平成30年 | 4月10日 | 入学式 46名の新入生を迎え全校児童289名でスタート | |
| | 10月25日 | 大曲仙北教育研究会秋季大会 社会科教育研究会会場 | |
| 平成31年 | 4月9日 | 入学式 40名の新入生を迎え全校児童277名でスタート | |
| | 10月24日 | 大曲仙北教育研究会秋季大会 道徳科研究会会場 | |
| | 11月23日 | 「令和元年度学力向上フォーラム」5年竹組道徳授業の公開 | |
| 令和2年 | 4月9日 | 入学式 34名の新入生を迎え全校児童253名でスタート | |
| | 4月21日 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための「緊急事態宣言」により休校 | |
| | ~5月6日 | | |
| 令和3年 | 3月19日 | 新型コロナウイルス感染症により臨時休校 | |
| 令和3年 | 4月8日 | 入学式 36名の新入生を迎え全校児童242名でスタート | |
| | 10月28日 | 大曲仙北教育研究会秋季大会 進路指導研究会会場 | |
| 令和4年 | 4月7日 | 入学式 30名の新入生を迎え全校児童234名でスタート | |
| 令和5年 | 4月10日 | 入学式 38名の新入生を迎え全校児童221名でスタート 特別支援学級(さくら組:難聴)の新設(1年生) | |

2 歴代校長

| 代 | 氏 名 | 在 任 期 間 |
|---|-------|-----------------|
| 初 | 高橋 勇治 | 平成24年4月~平成25年3月 |
| 2 | 鈴木 恒久 | 平成25年4月~平成27年3月 |
| 3 | 澁江 研 | 平成27年4月~平成29年3月 |
| 4 | 三浦 仁 | 平成29年4月~平成31年3月 |
| 5 | 佐藤 政美 | 平成31年4月~令和4年3月 |
| 6 | 山田 浩 | 令和4年4月~令和5年3月 |
| 7 | 森川 艶人 | 令和5年4月~ |

2 経営にあたって

1 経営の基調

(1) 地域と児童

本校は、大仙市の北西部に位置し、刈和野・土川・大沢郷・双葉の各小学校が、平成24年4月に統合した学校である。西仙北地域唯一の小学校として、保護者や地域の方々の学校への関心は高く多様な教育活動に協力的である。

児童数は221名で、明るく素直で何事にも真面目に最後までやり遂げようとする。「にしっこ活動（縦割り活動）」の異学年交流が特色の一つであり、高学年児童のリーダーシップのもと、なかよく学校生活を送っている。通学区は広く、スクールバスが8路線で9台運行しており、バス通学児童は全校の約6割を占める。遠距離通学の児童も多いなか、全校児童が毎日元気に過ごしている。学習面でも、真面目に課題に向き合い意欲的に学べるよさがある。

その一方、生活・学習規律の未定着な児童、周りの児童と良好な関係を築けない児童、自分に自信をもてず自己有用感の低い児童も見られる。学習面では、自ら課題を見つけて主体的に解決しようとする態度や、資料を読み取ったり結果から考察したりする力、自分の考えを相手に分かるように説明する力の向上が課題である。また、自分の考えに自信をもち自ら判断し行動する態度の育成が課題である。

西仙北地域は、豊かな自然や伝統文化等に恵まれた地域である。地域との積極的な関わりを通じて、そのよさを実感し地域を誇りとする児童の育成にも努めていきたい。そのためには、自他を尊重する思いやりのこころを基盤に、何事にも協働的に関わり高め合う態度の育成が望まれる。豊かな学びを通じて、一人一人のよさを伸ばしながら課題解決につなげていきたい。そして、保護者や地域との連携のもと、全教職員が児童と共に汗を流し生き生きと活動できる学校づくりに取り組んでいきたい。

(2) 基本方針 子どもと地域のための学校づくり【成長保障と学力保障、地域貢献】

①思いやりと元気にあふれた学校づくり

- 教職員による「居場所づくり」の取組
- 児童主体の「絆づくり」への支援

子どもと教師の信頼関係が学校教育の基盤である。学級・学年経営において、子どもと教師、子ども同士の豊かな人間関係を大切にしつつ、「居場所づくり」と「絆づくり」を通して、一人一人がたくましく豊かな人間性が培われるような学校づくりをしていく。

②一人一人の子どもに「楽しく分かる授業」が保障されている学校づくり

- 一人一人のよさや興味関心を大切に、可能性を伸ばす授業づくり
- 共に学び合う楽しさや大切さを実感できる授業づくり **みんなでわかる みんなにわかる**
- 主体的に学ぶために自ら決定できる授業づくり

子どもの実態に応じた確かな指導で、基礎的・基本的な学力を保障することが、私たちに課せられた使命である。実践と評価を基に、授業改善を進める学校づくりをしていく。

③地域と共にある学校づくり～地域に学び、地域を元気にする学校～

- 幼保小中高の学校間連携及び地域との連携推進
- コミュニティ・スクール、西仙北地域学校協働本部を核とした地域連携

地域に根ざした豊かな体験活動を通して、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、一人一人の社会的・職業的自立に必要な基盤となる資質・能力を育てていく。

そして、地域の伝統を受け継ぐ態度の育成や地域課題に向き合い考え積極的に発信する等、地域活性化に貢献する人材育成に励み、地域とともにある学校づくりをしていく。

2 学校教育目標

思いやりの輪を広げ 元気に楽しく 本気で学ぼう

思いやりの輪を広げ 【こころ】

「思いやり」とは、友だちに優しく接したり困っている人がいたら助けてあげたりすることである。また、話す人をよく見て聴いて、自分も同じだとうなずいて共感の意思を示すことも当てはまる。根底には、相手の思いに寄り添う優しさと寛容な態度が必要である。

そのために、校内の異学年交流や校外の多様な人との積極的な関わりを通して「自他を尊重する心」を育む取組を大切にしていきたい。

<自他を尊重する心>

- ・自分を大切にする（自分のよさに気付く、伸ばす、自己有用感を高める）
- ・相手を大切にする（友だちのよさを認める、友だちの思いや考えを認める、協力する）

元気に楽しく 【からだ】

学校は「楽しい」場所ではなくてはならない。そのためには、自分から進んで物事に取り組み、自分で楽しさを味わってほしいものである。諸活動に「元気に」取り組んだり「はつらつと」取り組んだりすることで真の「楽しさ」を味わうことができるし、そこから生まれる喜びも大きいはずである。また、健康な「からだ」があってこそ、毎日の学校生活の営みが生まれる。健康や安全に対する自己管理ができる子どもであってほしい。そして、健康管理を第一に何事にも元気に楽しく取り組み、よりよく自己の課題解決を図れる力を育んでほしい。

本気で学ぼう 【まなび】

学校は「勉強」するところである。勉強が分かると楽しくなり、さらに意欲が高まる。よい学びはこの連続であり、こうした連続性は子どもの主体性によって生まれる。そのためには、子ども一人一人の考えを大切にしたい。どんな場面でも、自分の考えをもつことが第一である。友だちとの対話的な学びや協働的な学びを通して、自分の学びを深めながら仲間と共に高まる学びを推進していく。仲間と共に本気で（夢中で、真剣に）学ぶなかで、学んだ知識や技能を実生活で表現したり活用したりできる生きて働く力も併せて培っていきたい。

3 めざす子ども像

- | | |
|------------------------------|-------|
| ○ 思いやりと寛容な態度で、他者と関わろうとする子ども | 【こころ】 |
| ○ 何事にも真剣に取り組み、粘り強く課題解決できる子ども | 【からだ】 |
| ○ 主体的・協働的に学び、互いに高め合う子ども | 【まなび】 |

夢を育み みちをひらいていく
(自らの未来を主体的に切り拓いていく)

西仙北小学校でありたい

4 本年度の重点

学校は、明るく、希望に満ち、将来への展望が開けるところでなければならない。本校教育の充実のため、次の7点を重点として、学校教育目標の具現化を図っていく。

(1) 「思いやりの心」と「健やか身体」の育成【こころ】【からだ】

- ① 「にしっこ活動（異学年交流）」で他を思いやる優しい心の育成
- ② 特別活動や道徳教育で培う自尊感情・自己有用感の醸成
- ③ 読書活動と学習活動で豊かな心と学びを創る学校図書館の積極的活用
- ④ 食育を含む自己管理能力を伸ばす健康教育の充実と明確な目標をもった体力づくりの実践

(2) 「確かな学力」の向上を図るための指導法の工夫【まなび】

- ① 教科の特質に応じた見方・考え方を働かせた言語活動の位置付けと充実
- ② 『にしせんスタンダード』による「秋田の探究型授業」の深化と拡充
- ③ 「主体的・対話的で深い学び」を視点とする授業改善への取組（理科・生活科を中心に）
- ④ 効果的なICTの活用による個別最適な学び・協働的な学びの実現

(3) 大仙教育メソッドを踏まえたキャリア教育の充実【まなび】

- ① キャリア教育で育成する基礎的・汎用的能力を踏まえたカリキュラムデザインの改善
- ② 社会的・職業的な自立に必要な基盤となる資質・能力の育成につながる体験活動の充実
- ③ 「刈和野大綱米プロジェクト」を総合的な学習に位置付けたふるさと学習
- ④ コミュニティ・スクール、西仙北地域学校協働本部を核とした学校間連携及び地域連携の取組

(4) 環境教育を中心としたESDへの取組【まなび】

- ① 理科を中心とした教科横断的な学習における環境教育の実践
- ② 日常生活でできる省エネへの工夫や関心を高める環境教育の実践
- ③ 関係機関と連携した校外学習等による体験的な学習
- ④ 持続可能な社会をつくる力を育てる環境教育の実践

(5) 特別支援教育の充実と校内支援体制の強化【特別支援教育】

- ① 個別の指導計画及び個別の支援計画を踏まえての全教職員による支援の実施
- ② 校内における交流及び共同学習の計画的・継続的な実践によるインクルーシブ教育の充実
- ③ ユニバーサルデザインの視点による授業づくり・学習環境整備
- ④ 特別支援コーディネーターを窓口とした関係諸機関との積極的な連携

(6) 家庭・地域等との連携と地域に貢献する学校【連携】

- ① 保護者等への誠意ある迅速な対応による信頼関係の構築
- ② 地域人材を積極的に活用した教育活動の推進
- ③ 学校報や学年だより、学校ホームページ等を活用しての積極的な情報発信
- ④ 学校評価の実施と結果の公表並びに改善

(7) 教職員の勤務環境改善の取組が見える学校【業務改善】

- ① 勤務時間管理システムの活用による長時間労働改善に向けた取組の推進
- ② 教員の空き時間の確保（担外教員の専科授業担当、日課の工夫等）
- ③ 年次休暇等取得しやすい職場環境の醸成、ノー残業デーの設置（月2回）
- ④ コミュニティスクール、西仙北地域学校協働本部を活用した地域サポートの要請（地域素材・人材等の活用、地域子ども見守り隊等）



校訓 ころ つなぎ みち ひらく

本校の校訓「ころ つなぎ みち ひらく」の目指すところは二つです。

- ①地域社会の将来を担う子どもたちに、思いやりの心や共に支え合う行動力を育むこと
- ②自分の夢に向かって、多少の困難に出会ってもあきらめず、よりよい解決の道を切り拓いていくたくましさを育むこと

これは、時代が変わろうとも求められる不易の真理であり、今後、一層必要とされる態度や行動力ではないかと思えます。(初代校長高橋勇治先生「開校式の校長あいさつ」より)

学校教育目標

思いやりの輪を広げ 元気に楽しく 本気で学ぼう

こんな姿を
目指します

児童の姿

- 思いやりと寛容な態度で、他者と関わろうとする子ども 【ころ】
- 何事にも真剣に取り組み、粘り強く課題解決できる子ども 【からだ】
- 主体的・協働的に学び、互いに高め合う子ども 【まなび】

教師の姿

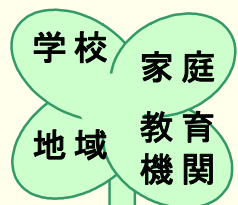
- 子どもの成長に責任と誇りをもつ教師
～自分を磨き 信頼される教師～
- 地域に学び、地域と共に歩む教師
～ひらき つなげる～

学校の姿

- 子どもの夢ふくらむ学校
～夢を育み みちをひらいていく～
- 子どもの安全・安心が保障される学校
- 地域に学び、地域を元気にする学校

【今年度の重点】

- (1) 「思いやりの心」と「健やか身体」の育成
 - ①「にしっこ活動（異学年交流）」で他を思いやる優しい心の育成
 - ②特別活動や道徳教育で培う自尊感情・自己有用感の醸成
 - ③読書活動と学習活動で豊かな心と学びを創る学校図書館の積極的活用
 - ④食育を含む自己管理能力を伸ばす健康教育の充実と明確な目標をもった体力づくりの実践
- (2) 「確かな学力」の向上を図るための指導法の工夫
 - ①教科の特質に応じた見方・考え方を働かせた言語活動の位置付けと充実
 - ②『にしせんスタンダード』による「秋田の探究型授業」の深化と拡充
 - ③「主体的・対話的で深い学び」を視点とする授業改善への取組（理科・生活科を中心に）
 - ④効果的なICTの活用による個別最適な学び・協働的な学びの実現
- (3) 大仙教育メソッドを踏まえたキャリア教育の充実
 - ①キャリア教育で育成する基礎的・汎用的能力を踏まえたカリキュラムデザインの改善
 - ②社会的・職業的な自立に必要な基盤となる資質・能力の育成につながる体験活動の充実
 - ③「刈和野大綱米プロジェクト」を総合的な学習に位置付けたふるさと学習
 - ④コミュニティ・スクール、西仙北地域学校協働本部を核とした学校間連携及び地域連携の取組



連携と協働

- ・防災教育の充実 ・安全管理の強化
- ・西仙北地域子ども見守り隊

安全・安心を守る

- ・目指す子どもの姿、現状等の共有（学校評価）
- ・コミュニティ・スクール、地域学校協働本部、大仙メソッドによる連携

地域に開かれた学校づくり